

地方都市視察報告書

福祉健康委員会

1 実施日

平成27年10月16日（金）

2 視察地 兵庫県明石市

【市の概要】

(1) 面積 49.42km²

(2) 人口・世帯数（平成27年9月1日現在）

人口 292,024人

世帯数 122,099世帯

(3) 概要

明石市は、東経135度の日本標準時子午線上にある。

気候は温暖で、古くは万葉歌人柿本人麻呂によって多くの歌が詠まれた風光明媚な地であり、さらに、阪神都市圏と播磨臨海地域、そして海を隔てて淡路・四国と結ぶ位置にあり、海陸交通のうえで重要な拠点となっている。

昭和35年以降は、企業進出、住宅開発に伴う阪神都市圏からの人口流入などを受け、住宅都市・産業都市としての著しい成長を遂げている。

明石市は「こども」「地域」「安全」「元気」をキーワードに、市民に最も身近な基礎自治体として、市民に寄り添った施策を進めている。地方分権、地域主権の時代の中で、明石市が積極的に進める、特徴的な施策として以下5点を紹介している。

- 1 犯罪被害者等支援条例を改正～全国で初めて立替支援金制度を導入～
- 2 離婚後のこども養育支援～こどもの目線でこどもの権利を守る～
- 3 法テラス窓口を市役所内に全国で初めて設置
- 4 障害者のコミュニケーション促進を図る条例の制定
- 5 ミシシippアカミミガメ（ミドリガメ）繁殖防止に向けた取り組み
- 6 無戸籍者に対する支援制度

3 視察項目・内容

- (1) 徘徊高齢者発見システム（写真付メール配信）について
- (2) ひとり暮らし助成制度について

4 視察参加者

【委員】

野もとあきとし委員長 桑原羊平副委員長 木もとひろゆき委員



小野 裕次郎委員 志田 雄一郎委員 吉住 はるお委員
沢田 あゆみ委員

【随行】

議会事務局議事係 濱野 智子
議会事務局議事係 唐澤 一彰

5 視察結果・所感

兵庫県明石市では、平成 24 年 4 月から警察による捜査の一助として、徘徊見守り SOS ネットワーク事業を開始し、徘徊高齢者の早期発見のために、写真情報を添付したメールを配信している。これまで登録者は、高齢者福祉関係に従事して守秘義務が守られる方に限定して行っていたが、平成 27 年 4 月からは協力者の登録を一般市民にも拡大し、写真を除いた文字情報での情報提供を行っている。平成 27 年度は利用登録者数 92 人、協力者登録数 389 人（うち一般市民の登録は 63 人）、メール受信回数 8 回との説明があった（平成 27 年 10 月 13 日現在）。徘徊高齢者発見システムについては、個人情報の取り扱いや警察との連携、近隣地域（例えば自治体）との連携がポイントとなることが分かった。

また、ひとり暮らし高齢者支援の取り組みとして、「災害時要支援者台帳への登録」や「ひとり暮らし高齢者台帳」、「緊急通報発信装置の貸与」、「安否確認（保健飲料の配布）」などの説明を受けた。特に、ひとり暮らし高齢者台帳は、対象者の約 4 割に当たる方が登録し、実態把握と支援に取り組まれていた。新宿区では、ひとり暮らし高齢者の割合は 23 区で最も高いことから、今回の視察を参考としたい。

6 主な質疑項目

- (1) 高齢者福祉台帳への登録状況について
- (2) 民生委員の協力体制について
- (3) 個人情報の取り扱いについて
- (4) SOS ネットワークの他の自治体との協力体制について
- (5) ひとり暮らしの男性高齢者へのアプローチ方法について
- (6) ひとり暮らし高齢者台帳へ登録可能な対象者の登録率について
- (7) 安否確認事業において異常があった場合の通報先について
- (8) 異常あった場合における保健飲料(ヤクルト)配達者からの通報割合について
- (9) 「徘徊・見守り SOS ネットワーク」の協力者や協力団体等について
- (10) 重度の知的障害者の SOS ネットワークへの登録について
- (11) 緊急通報における身体弱者の基準について

7 その他

【共同視察者】福祉部高齢者福祉課長 齊藤 正之